

最近の経済・雇用情勢について

産業労働部産業政策課

I 経済情勢

1 日本

月例経済報告〔平成 26 年 5 月（H26. 5. 23 内閣府）〕

景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。

- ・ 個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きとなっている。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、横ばいとなっている。
- ・ 生産は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、このところ弱含んでいる。
- ・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、このところ慎重となっているが、先行きは改善がみられる。
- ・ 雇用情勢は、着実に改善している。
- ・ 消費者物価は、緩やかに上昇している。

参考：四半期別実質 GDP 成長率（H26. 5. 15 内閣府）

（単位：％）

	H25. 1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期	10-12 月期	H26. 1-3 月期 ※1 次速報値
季節調整済前期比	1. 2	0. 9	0. 3	0. 1	1. 5
年率換算	4. 9	3. 5	1. 3	0. 3	5. 9

※6四半期連続のプラス

2 長野県

長野県の金融経済動向（H26. 5. 12 日本銀行松本支店）

長野県経済は、緩やかに回復しつつある。

最終需要の動向をみると、公共投資は増加基調で推移している。一方、住宅投資は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、前年比減少に転じている。この間、設備投資は堅調に推移している。また、個人消費は消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、基調的には消費者マインドの改善を背景に、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は緩やかに回復している。このほか、雇用・所得は、着実に改善している。

II 雇用情勢〔平成 26 年 4 月分（H26. 5. 30 長野労働局・厚生労働省）〕

雇用情勢は、一部に厳しさが見られるものの、改善が進んでいる。

有効求人倍率

長野県	1. 08 倍	前月 1. 04 倍と比べ 0. 04 ポイント上昇
全国	1. 08 倍	前月 1. 07 倍と比べ 0. 01 ポイント上昇

※1年5か月ぶりに全国と同率

参考：株価・円相場

（単位：円）

	H24. 11 月 ①	H26. 6. 2 ②	②－①	H24. 11 月以降の 最高値・最安値
日経平均株価（終値）	9, 446. 01	14, 935. 92	5, 489. 91	16, 291. 31（H25. 12. 30）
1 米ドル	80. 89	101. 98	21. 09	105. 36（H25. 12. 30）
1 ユーロ	103. 79	138. 77	34. 98	144. 95（H25. 12. 30）

※円相場：H24.11 月は月中平均、H26.6.2 及び H24.11 月以降の最高値・最安値は午後 5 時現在